

## 1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

## 【評価実施概要】

事業所番号	4570102436
法人名	医療法人社団 こおり産婦人科・内科
事業所名	グループホーム 101
所在地	宮崎市清水1丁目169 (電話) 0985-28-8114
評価機関名	宮崎県医師会サービス評価事務局
所在地	宮崎県宮崎市和知川原1丁目101
訪問調査日	平成 21年 6月 30日

## 【情報提供票より】(21年 6月10日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 16年 6月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 5 人, 非常勤 4 人, 常勤換算	7.37 人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨の平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,800~47,250円	その他の経費(月額)	10,000 円
敷 金	有( 円)	<input checked="" type="checkbox"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,261 円

## (4) 利用者の概要(6月10日現在)

利用者人数	8 名	男性	0 名	女性	8 名	
要介護1	4 名	要介護2	1 名			
要介護3	1 名	要介護4	2 名			
要介護5	名		要支援2	名		
年齢	平均	91.3 歳	最低	85 歳	最高	99 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	こおり産婦人科・内科、新田歯科
---------	-----------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、市内中心地の閑静な住宅街の一角にあり、近くには、中学校や児童公園、図書館、博物館、美術館等がある。移動図書館の来所時には、リビングに湯茶を用意し、近隣の人達との交流の場として提供している。管理者は、ボランティアの訪問受け入れや市社会福祉協議会からリフト車を借り受け、家族同伴での小旅行を行うなど社会資源の活用にも積極的に取り組んでいる。訪問当日は、ボランティアによるハーモニカ演奏が行われ、利用者が童謡等を口ずさまれるなど、ホーム内には楽しい雰囲気が見られた。

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 管理者は、前回評価での改善課題に捉われず、サービスの本質や現状を振り返り、全ての項目について全職員としっかりと話し合い、質の向上に向けた取り組みを行った。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者は、評価の意義と目的について職員に説明し、全員で自己評価に取り組み、サービスの質の向上に努めている。
	②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、2か月に1回、利用者及び家族をはじめ、自治会長等、地域における幅広い立場の人に参加してもらっている。会議では、情報交換の他、サービス評価についてのこれまでの評価結果を踏まえ、現在取り組んでいる内容を報告し、意見や要望を受け、改善につなげる取り組みをしている。メンバーへの積極的な参加呼びかけの一環として、協力医によるミニ講演会を取り入れ、好評を得ている。
重点項目	③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族には、訪問時や電話、手紙等で常に問いかけ、何でも言ってもらえるよう働きかけしている。家族が意見や苦情を表せる機会や場として、家族会や運営推進会議、市の相談窓口、苦情・相談担当者名等を伝えている。出された意見、要望等はミーティング時に話し合い、前向きに活かす取り組みを行っている。
重点項目	④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 事業所は自治会に加入している。回覧板を届けたり、地域のごみ拾いボランティアに参加するなど、地元の人々との交流に努めている。市の移動図書館来所時には、ホームのリビングに湯茶を用意し、近隣の人達との交流の場として提供している。また、ボランティアの受け入れや地域民生委員からの要望を受け、地域の高齢者に関する相談に応じるなど地域との連携を図っている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念を見直し、住み慣れた地域での安心した暮らしを支えるケアとして事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議では、理念について話し合い、意識づけがなされている。職員は、日々の実践において理念が反映されるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支え合い					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所は地域の自治会に加入している。回覧板を届けたり、ごみ拾いボランティアに参加するなど地元の人々との交流に努めている。また、市の移動図書館来所時には、ホームのリビングに湯茶を用意し、近隣の人達との交流の場として提供している。民生委員からの要望で、地域の高齢者に関する相談にも応じている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は、評価の意義や目的について職員に説明し、理解を得ている。自己評価を全職員で行い、サービスの質の向上に努めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議には、利用者及び家族をはじめ自治会長等地域における幅広い立場の人に参加してもらっている。会議では、情報交換の他、外部評価の結果を踏まえ、現在取り組んでいる内容を報告し、意見や要望を受け、改善につなげる取り組みをしている。参加呼びかけの一環として、協力医によるミニ講演会を取り入れ好評を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は、市担当者を気軽に訪ね、顔馴染の関係ができています。高齢者介護に関する資料や助言等を提供してもらおうなど連携作りに積極的に取り組んでいます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の暮らしぶりや職員紹介など写真入りで定期的にホーム便りを発行している。家族の来訪時には、利用者の健康状態や生活状況を報告している。金銭管理は、個別に金銭出納帳に記録し、家族に確認サインを頂いている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には、訪問時や電話、手紙等で常に問いかけ、何でも言ってもらえるよう働きかけている。家族が意見や苦情を表せる機会や場として、家族会や運営推進会議、市の相談窓口等を伝えている。出された意見や要望はミーティング時に話し合い、前向きに活かす取り組みを行っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事業所は、職員の離職を極力避けるよう職員の休憩室、相談窓口設置や親睦会など、職員の環境作りに配慮している。代わる場合は、利用者には説明と紹介をし、ダメージを抑える努力をしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は、職員各自に応じた事業所内外の研修が受けられるよう計画を立てている。事業所外での研修内容は、全職員が共有できるよう復命書が作成され、ミーティング時に発表している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県や地域での同業者の連絡会に積極的に参加している。学習会や交流の機会を持ち、事業所のサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前のホーム見学や体験利用により、職員や他の利用者及び場の雰囲気に馴染めるよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者から料理や梅漬け等四季折々の食・生活文化を教えてもらったり、労いの言葉を頂くなどお互いに支え合う関係ができています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、利用者が何気なく呟かれたことばも真剣に聴き、本人の思いをくみ取れるように心がけ、利用者本人や家族が求めているものを理解するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者がより良く暮らせるために、本人や家族、必要な関係者から意見を聴き、それぞれの意見を反映した利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は3か月に1回の定期的見直しを行うと共に、利用者の状態変化に応じて随時見直しを行っている。		安定している利用者の場合にも、月に1回程度は新鮮な目で本人や家族の今の意向を確認し見直し取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の要望に応じて、受診介助、買い物や外出など柔軟に支援している。遠方に居られる家族の来訪時には、家族が宿泊できる準備がある。近隣の高齢者がショートステイを利用できる体制がある。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、本人及び家族の希望するかかりつけ医となっている。受診結果に対する情報の共有も出来ている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方については、医療連携体制ができており、本人及び家族、医師、看護師を交えて話し合い、関係者全体の方針の統一を図っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全ての職員が個人情報保護法の理解に努め、秘密保持が図られている。訪問中、利用者の誇りやプライバシーを損ねるような言動は見られなかった。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調に配慮しながら、その人らしい生活ができるよう支援している。利用者のお一人は、職員に優しく介助してもらいながら、10時ごろゆっくりと朝食をとっておられた。また、リビングの一角では、気の合った利用者同士が楽しげに談話をされていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、利用者の好みや力を活かしながら、食材選び、買い物、調理、片付けなど一緒に行っている。食事は利用者と職員が同じテーブルを囲んでさりげなく介助しながら、楽しい雰囲気と同じ物を一緒に食べていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴前に利用者の健康状態を確認し、不安や羞恥心、プライバシーに配慮しながら、本人の希望やタイミングに合わせて入浴できるよう支援している。入浴を拒まれる場合は清拭を行うなど柔軟な支援をしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴を家族等に聴き、本人の有する力を踏まえて、園芸、食器洗い、掃除、洗濯物たたみ等その人に合った楽しみや役割を持てるよう支援している。また、市の福祉バスを利用して、年に数回は家族同伴の小旅行を行い、利用者及び家族も楽しみにされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者一人ひとりの習慣や希望に合わせて、散歩やショッピングセンターへ買い物に出かけている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が居室や日中玄関に施錠することの弊害を理解しており、鍵は掛けていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	洪水ハザードマップが掲示され、災害対策マニュアルや災害に備えた備品の準備がある。また、緊急時・災害時対応個人カードを作成し、利用者と共に自衛避難訓練を行っている。地域の協力体制については、運営推進会議を通じて協力が得られており、近日中に消防署など地域の協力を得た避難訓練を実施する予定である。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの定期的体重測定と食事や水分の摂取状況を記録し、職員が情報を共有している。カロリーや栄養バランスは協力医療機関の栄養士にチェックしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や居間には季節の花が活けられ、不快な音や臭気も無く、採光、室温は居心地よく過ごせるよう配慮されている。薬剤や刃物など注意の必要な物品の管理もされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真やテレビ、鏡台、使い慣れた日用品が持ち込まれ、その人らしく安心して過ごせるよう配慮されている。		